

事業所名		わらうん				支援プログラム（参考様式）				作成日		2025 年		9 月		29 日	
法人（事業所）理念		子どもたちが「できた!」と笑うたびに、未来への力が少しずつ育っていきます。 ダルマのように、つまずいてもまた立ち上がれる。その姿を、みんなで見守ります。 保護者の方には「ここなら安心できる」と思える時間を。 地域の方には「子どもたちが元気に育っている」と感じてもらえる場を。															
支援方針		わらうんでは、SST、学習支援、作業体験、グループ活動などを通じて、子どもたちが日常生活や集団生活に必要な基礎的スキルを身につけられるよう支援します。 さらに、これらの活動を通じて将来の就労や自立に向けた力を育み、一人ひとりが自分らしく生活できるようサポートします。															
営業時間		10 時		30 分から		18 時		30 分まで		送迎実施の有無		あり		なし			
		支 援 内 容															
本人支援	健康・生活	生活リズムを整える習慣づけ（手洗い・うがい・着替え・片付け）。 落ち着いて過ごせる時間と、リラックスできる居場所の確保。															
	運動・感覚	屋内外での体を使った遊びや運動（ボール遊び・リズム運動） 勢保持・バランス感覚・体力向上を楽しくサポート。 姿															
	認知・行動	作業体験や軽作業活動を通じて集中力や達成感を育む。 順番を待つ・ルールを守るなど、社会的行動の練習。 スケジュールや絵カードで見通しを持ちやすくし、安心した行動へつなげる。															
	言語 コミュニケーション	あいさつや返事など日常会話の練習。 絵カード・ジェスチャーなど多様な手段で表現をサポート。 自分の思いを伝える／相手の気持ちを理解する練習。															
	人間関係 社会性	集団あそびやグループ活動を通して「一緒に楽しむ」経験を増やす。 お友達との関わり方を学び、協力・譲り合いの体験を積む。															
家族支援		日々の連絡帳や面談で子どもの成長や課題を共有。 家庭での工夫や支援方法を一緒に考え、生活に活かせるようにする。								移行支援		高学年以降の子どもに対し、進学・就労を見据えた準備を行う。 軽作業体験や役割分担を通じて自立につながる力を育てる。B型体験など 学校・家族・関係機関と連携し、次のステップへの橋渡しを支援。					
地域支援・地域連携		地域の学校や関係機関と連携し、切れ目のない支援を行う。 医療・福祉・教育とのネットワークを活かした包括的な支援。								職員の質の向上		定期的な研修参加や事例検討を通じて専門性を高める。 チームで情報共有し、支援の質を統一する。 保護者や地域からの意見を取り入れ、柔軟に改善を続ける。					
主な行事等		季節の行事（七夕・クリスマス・節分など）。 調理活動・遠足・地域交流イベント。 発表会や展示など、子どもたちの頑張りを見てもらえる機会。															